

令和4年第5回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年5月20日（金）

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘教育総務課長、木村武俊生涯学習課長

5 開 会 午後2時

6 令和4年第4回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告 なし

(2) 専決事務報告 なし

8 議 事

議案第23号 大河原町社会教育委員の委嘱について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

9 その他

(1) 教育長報告（校長会資料による報告）

1 育てるのではなく、育つのを助ける（栗山英樹）

栗山監督の言葉に「指導者は学び続けなければならない。」とある。教師と同じである。また、「人の成長を促す仕事に就く者ほど、まずは誰よりも人を愛し、人が進んでほしい道をまず自分が歩まねばならない」の言葉がある。先生自ら、努力、学ぶ姿を見せることが大事である。

2 子どもの学びを見取る（石井英真）

「対話的学び」では、教師は話し合っている内容を「見取る」ことが大切だが、全部を見取るのは非常に難しくなっている。部分的に分けて評価していくことが大事。子どもの様子を記録して、子どもの学びの実態を共有し、どのような指導が有効だったのかについて検証する。子どもの学びの広がりを中心に検討会をもってこそ、教師の指導力向上につながる。

今年の研究事業で一部取り入れ、実施していただきたい。

3 齋藤喜博における「子どもがみえる」ということ（田端健人）

対話的学びにおいては、「事実がみえる」「学びがみえる」教師でなければならない。その「子どもがみえる」についてまとめた、宮城教育大学の田端健人教授の論文がある。今年度、大河原中学校と金ヶ瀬中学校の校内研修で学力調査と授業の関係について講話をいただく。前もって学力調査の結果を分析してもらい、お話をさせていただく予定である。「子どもがみえる」の部分も加えて、実際の指導の在り方を指導いただくことにしている。

4 体験活動の価値を磨き上げる（田村学）

体験活動は非認知系の能力を育成するものである。特別活動、総合学習、共同的な学び、主体的な学びが大事。すべての教科が大事である。

5 家庭教育

(1) 「親」をあきらめない（浅田和伸）

(2) 『子どもといっしょに成長しよう』（浅田和伸）

学校は人の家のことに多少なりとも口を挟める希有な存在であることから、「語りかけ」を重ねてほしい。浅田氏の著書より紹介。

- ・各教科の学びを嫌いにさせず「できない子」や「苦手な子」などに寄り添ってほしい。

- ・「人の気もちがわかる」とは、冗談を言って笑い合うことではなく、人のつらさ、苦しさ、悲しみなどを自分のことのように感じ、寄り添うこと。

- ・中学生には自分の言葉で語らせることが成長につながる。

- ・校則などの決まりを改めて考えていくことの大切さ。

- ・「〇〇は良くなってきたね」「〇〇、前より良くなってきたね」は子どもを伸ばす魔法の言葉である。努力のプロセスを見てあげる。

このような、子どもを育てることを発信していただきたい。「語りかけ」を重ねてほしい。

6 教科担任制の導入（渡辺研）

小学校で英語、理科、算数、体育について教科担任制が実施された。大河原小学校で2人配置になり、配置されたことにより先生方の空き時間ができる。教科担任制は、画期的な教育改革である。今後、金ヶ瀬小学校と大河原南小学校でも教科担任制を申請してほしい。教員の仕事の魅力の一つになるのではと考える。

7 その他

連休明けには、子どもが登校を渋ったり休みがちになったりすることが多い。注意してほしい。聞くこと、話すこと、書くことの一つひとつ丁寧に指導する。

①英語力について

大河原中学校・金ヶ瀬中学校の英語力が付いている。英検3級以上合格レベルが、57.9%で、全国の中でも高い数値が出ている。中学校の英語の先生のがんばりがみえる。

②うんこドリルで交通安全

交通安全意識を高めようと、寄贈いただいた。交通安全教室は開いているが、日常的ではない。教材を使用して注意喚起していく。

丹羽委員	資料の中で、「育てるのではなく、育つの助ける」というのがありますが、私も非常にそう思います。宮城県警本部で会合があって、愛の手で非行を摘もうというのがあるが、これは、良さそうでダメだと思います。若い人は、頭ごなしに抑えると、非行に走る。子どもの長所に目が向いてないのが多い。欠点を抑えるのは難しいので、長所をのばす家庭環境と教育が必要である。
佐藤教育総務課長	うんこドリルの交通安全。人身事故の話で、ぶつかって何でもないと行って、後から法外な請求される場合がある。病院・警察は必ず最後まで行く。
舟山委員	今年に入り、交通事故が多い状況にある。気を付けていきたい。
鈴木教育長	斎藤喜博における「子どもがみえる」ということについて、読ませていただいた。指導する人間は、内面の美しさを引き出せない。
一盃森委員	子供がみえないとだめだと言うが、とても大変なこと。新任の先生方は目標をもってがんばってほしい。
	田端健人さんの論文。教育者論。子どもをどういう存在にとらえて、子どもを分かっていくことを、どのように構築・実践していくか。田端先生のアプローチが斬新である。子どもがみえるとは、なかなか難しいが、例えば、生活科の授業で子どもが散らばっても、担任の先生が目にはできないような子どももいるが、この子どもは今何をしているのかを想定しながら指導にあた

	らないと、一つのまとまった時間が成立しないと言われている。子どもが勝手に動いているように見えるが、組織化されている。最後は授業として成立するのを思い出しました。
	学校で体験する遠足や修学旅行。人との関りで体験できるのが良い。大事である。
小山委員	教科担任制の導入関係。ぜひ、ゆとりをもって子供たちに接してほしいと思う。疲れ切っているよりも、楽しんでいる先生の方が保護者も安心である。
丹羽委員	先生方には家庭を大事にしていきたいと思います。家庭がうまくいかないと、子どもたちにも影響がでる。子どもたちが可哀想である。自分の家庭環境を整える工夫が必要。
一盃森委員	英語の実施状況について。英検3級以上の合格レベルの判断は、誰がどのように行ったのか。
鈴木教育長	英語の先生の判断で合格レベルの力があると判断。合格者もいれば、いない方も含まれる。
一盃森委員	私も昔に英検3級を取った。子どもたちは、頑張れば必ずできると思う。ヒアリングが大事で、いっぱい受けさせてあげれば自信もつく。ぜひ、学校の英語の先生方には子どもを伸ばしてほしい。
丹羽委員	英語の先生は資格3級以上、準2級とかあるのか。
舟山委員	教員資格で条件があると思う。
小山委員	英語は耳から覚える。英語の先生に、日本語を聞くと英語を聞く力が落ちると言われたので、ヒアリング時には日本語を聞かないようにした時を思い出した。
鈴木教育長	英検も予算がかかるので、来年度以降考えて行かなければならない。受験者が増えれば、勉強もする生徒が増える。白石市は半額補助。受験料の補助も考えなければならない。
小山委員	栗山監督の話。学ぶ姿をみせて、ついてきてもらう。今の子どもたちは、核家族が多い。周りの大人は親の他は、先生になってしまう。影響がとても大きい。先生方も、楽しんでやってもらえると、子どもにも伝わる。
佐藤教育総務課長	好きな先生になると、学習も頑張れる。嫌いな先生だと頑張れないことがあった。
鈴木教育長	先生の影響はとても大きいですね。

(2) 課長報告

教育総務課長

夏季休業中のプールについて

行事予定について

生涯学習課課長

行事予定について

丹羽委員	大河原中学校の新しい体育館・部室の使い勝手や要望はありますか。
佐藤教育総務課長	現在は、特に使い勝手についての問題等は聞いておりません。
丹羽委員	あれだけ立派な体育館なので、褒めてくださる方はおりましたか。
佐藤教育総務課長	初めてアリーナに入ると、ものすごく空間が大きいと言われる。
丹羽委員	アリーナにラインテープがいっぱい貼ってある。試合の時にどのようにするのか。
佐藤教育総務課長	通常ですと、試合の時は茶色のテープを貼って、競技以外のラインを隠す。
一盃森委員	総合体育館のトレーニングルームは運用されているのか。
木村生涯学習課長	コロナ感染症対策を行いながら、現在はやっております。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年6月10日(金)午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後3時30分

令和4年6月10日

署名委員

署名委員